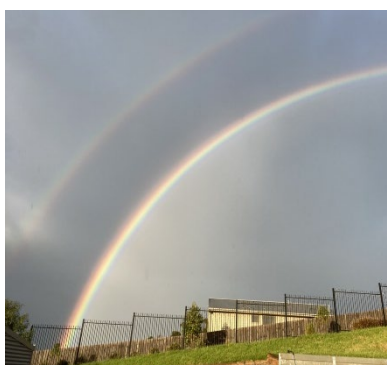


日本語アシスタントレポート3

宮野花菜



オーストラリアに来てから三カ月たちました。季節はもう冬に変わってきていて、寒いですが、よく通り雨みたいな雨が降るので一週間に一回はとてもきれいな虹が見られます。今学期は、高校生のキャンパスでジャパニーズデーがありました。太鼓や、書道、浴衣を着たり、お弁当を作ったりしました。生徒たちが楽しそうで、



嬉しかったです。そのあとに、インドネシアデーがあったり、五月二十日には、東ティモールという東南アジアの国の独立記念日のお祝いや、五月二十七日から一週間、ナショナル・



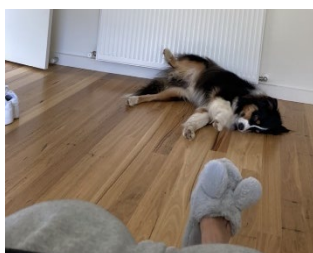
リコンシリエーション・ウィークと呼ばれる、オーストラリアの先住民であるアボリジニの人々やトレス海峡諸島民とのリコンシリエーション（和解）に貢献するための期間がありました。

この期間中に学校でアボリジニの儀式を見たり、実際に話を聞く機会があったり、今学期は、とても異文化について触れることができたと感じています。そして私自身とても興味がありました。



りました。

今週で学校が三週間の休みに入ります。そして、休みの間に、ホストファミリーが変わってしまいます。今のホストの子供たちは13歳と15歳と17歳で、みんな日本語の授業があり、特に15歳と17歳の子は、アニメが好きなので、晩御飯のあとに一緒にアニメを見ました。また一番下の13歳の子はKPOPが大好きなので、よく一緒に番組を見たりして、と



とても仲良くしてくれたのですごく寂しいです。またお母さんも同じ学校で働いているので、一緒によく学校の話をしました。犬もなついてくれていたので悲しいですが、しっかり感謝を伝えて、次のホストファミリーのところに引っ越しする準備をしていきたいと思います。

学校生活については、月曜日から金曜日まで、小学一年生から高校三年生までのすべてのクラスに行っています。だいぶ慣れてきたので楽しめています。日本語の授業を一緒に聞いたり、質問されたときに一緒に考えたりしていると、日本語は難しいなと思います。特に助詞は英語にないものなので、理解するのが難しそうです。言語は話していると省略されたり、使わなくなってしまう言葉もあるし、話し言葉と書き言葉はすこし違うので、今オース

トラリアに来て話し言葉を学んでいると、文法や語彙力も大事ですが、伝わらないとしても間違ってもいってみようとする勇気が大事だなと思います。

オーストラリアに来て、三カ月たち、初めのころに比べると英語が聞き取れるようになりました。一対一で会話することは、言語を上達させるためにとても大切だと思います。でもまだまだリスニングも知らない単語が出てきたらそこから会話が分からなくなったりしてしまうので、このホリデー中に、勉強したいと思います。学校ではみんな、私の英語を頑張っ
て聞き取ろうとしてくれたり、間違いを直してくれたり、私がもう一回行ってほしいと頼む
と、ホワイトボードに書いて説明してくれたり、すごく恵まれた環境だなとつくづく思いま
す。こんな素晴らしい機会を無駄にしないように、残りの時間を過ごしていきます。